

5・14～16沖縄闘争へ!

2016年5月1日
No.381

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

学芸大反戦ビラまき弾圧を粉碎し 4/28に武田雄飛丸君を奪還!

4・28全国学生集会での武田君アピール

皆さん。本当にありがとうございました。おかげさまで帰ってきました。僕も今回逮捕自体はびっくりして「ついにこういう時代に入ってきたか」と、法政大学のこともあったんで大学っていうのはろくでもないなということには分かっています。弾圧っていうのはあるんだと。



ただあの学芸大学で、反戦のビラを撒いて、学内から出ると大学当局に言われて逮捕される。常識では考えられないような逮捕だったという風に思っています。改めて逮捕されてから、学芸大のことを知ったんですが左翼の戦争の尖兵が凄まじいと思いました。

福大の時もそうですが、戦争反対の学生をでっち上げて逮捕させるということがありましたけど、本当に僕達が大学で戦争反対の闘いをしていく上で、権力との闘いとかありますけど、日本共産党との闘いは避けて通れないということがはっきりしたと思います。久々に取り調べを受けて面白かったのが、前逮捕されていた時より



4月28日、武田君を奪還し全国学生集会打ち抜く

も取り調べ時間が多かったんですが、基本的に言うことは運動や思想・信条に対するネガティブキャンペーンだったりするけれども、国家権力が一番言っていたのは「自治会を作りたいのか?」と、「学芸大学に自治会を作りたいたらう」ということを聞いてきました。

やっぱり重要なことは日本共産党やSEALDsとの党派闘争を辞さず、学芸大学で自治会を作ろうとしていることに、安倍政権であり国家権力は物凄い憎悪を抱えています。改めて僕達の訴えている内容が安倍政権であり、国家権力の弱点を完全に突いているということは、毎日の取り調べで分かりました。今回の弾圧を粉碎した勝利をもって、自治会を学芸大学で日本共産党でありSEALDsを叩き出すようなそういう拠点を作り出して行きたいと思っています。

体制内左翼や大学当局、警察権力に依拠するんじゃなくて闘う学生自治会をなんとしても甦らせていきたいと思っています。北海道の選挙の結果でも、野党統一候補を出す前より票が減っています。あらゆる既成左派のどうしようもなさは誰が見ても明らかだと思うので、現実的な力を持つ拠点を作っていくことがカギだと思っているので今後僕もやっていきたいと思っています。今後とも頑張らしましょう。ありがとうございました。



4・28国会デモ後の団結ガンパロー

全学連・吉田君の奪還闘争報告

お疲れ様です。実際に奪還できたということで、良かったと素直に思います。奪還までの経過報告ということですが、新歓のビラを撒きに行ったら逮捕されるということがありました。学芸大学は国立の大学で、入り口の掲示板に「出入り自由」と書いてあるんですよ。私道においてビラまき弾圧がお行われたということは、逆に象徴的で大学から声あげようと一度声を上げれば、学芸大学の様に徹底的に弾圧の側に回る。日本共産党であり、民青であり、リベラルと言われている大学人のペテンが暴かれた弾圧だったろうと言う風に思いました。実際に「大学で戦争反対のビラを撒きに来た奴がいるんです。」と警察に言っているわけです。実際に逮捕させてる。本当に恥を知れ！ しつこいほど東京学芸大学の前で訴えました。訴えれば訴えるほど反応がよかったです。

奪還していく過程で、学芸大生や東京経済大学の学生が署名してくれました。本当に無茶苦茶な弾圧です。バンバン署名が集まり、ビラが地裁前で300枚以上撒けたりして反応が本当にいい。今日も「連戦連勝全学連」というコールをやりましたが、弾圧に勝ち抜いている。地裁前で演説していたら、狭山闘争に関わっている人たちが学生の演説に支持を表明したりしてくれました。

その後来たのが、学者の会という団体で東京学芸大学の教授も名を連ねて「違憲訴訟」というので東京地裁にきていた。「僕達は戦争法案に絶対反対です。」っていうのであれば、お前らは大学のキャンパスで何やってるんだという話じゃないですか！ 小金井警察署の警察官がなんといったのか。「子犬や子猫を探してるようなこういうビラだったらいいんだけども、けどお



前ら戦争反対のビラを撒いたからだから逮捕するんだ。」本当に良くぞ言ってくれたと。今回の弾圧を象徴的に表しているなと思います。なにか人々が活動することに言っているわけじゃなくて、絶対反対で戦争に反対するんだ。戦争止めよう、社会を変えようと訴えているから弾圧するんだ。だから許せないと思って街頭・地裁・国分寺駅前・学芸大前で署名をして、ビラを受け取ってくれた。

反戦運動潰し、学生運動潰しのために一人の学生を逮捕した。この事実に対して違った人が決起して行って、僕達と一緒にビラを撒いたりして100人・1000人の規模でつながるんだ。そういう闘いが反撃になると思ったし、実際それが出来たから取り戻せたかなと思っています。本当に小金井警察署であり、本当に震え上がってますよね。完全に力関係が決した。そういう闘いだっただと思いますし、逆に団結が広まった。敵の墓穴になった。新たな団結の取っ掛かりをたくさん作った。

選挙闘争にとっても重要な闘いだっただと思います。結構、絶望している人が多いです。元日本共産党員で我々と話しになった人もいました。本当に僕達が求められていると言う風に思います。今回、勾留理由開示公判で警察官が導入されるとかも含めて、安倍政権や国家権力が相当踏み込んできている弾圧だと思います。

やっぱりこっちが全力で怒るということだと思います。あらゆる弾圧を当たり前にしない。弾圧にたいして腹の底から怒る。ここで人を獲得していく。相手も圧倒できると思います。この地平を次の闘争に生かしていきましょうということを改めて訴えたいと思っています。最後に武田雄飛丸君、奪還おめでとうございます！

【当面する行動方針】



●5・15沖縄現地闘争

5月14日(土)~16日(月) ひめゆり資料館見学、沖縄県民大会参加、国際通りデモ、沖縄大で集会(予定)

●国鉄運動全国運動6・5全国集会

6月5日(日) 13時~ 江戸川文化センター大ホールにて